



働き方改革を加速させる社内イベント開催 個人の意識と行動改革を促進

日立システムズ

経済のグローバル化や少子高齢化、顧客ニーズの多様化が進んでいる。そんな中、企業は労働力の減少を抑制し、経済の活力を損なわないようにするため、女性や高齢者等の就業をこれまで以上に促していく必要がある。また、顧客ニーズの多様化に対応し、企業競争力強化を図るためには、多様な人材の能力を最大限に発揮し、価値創造に参画していくダイバーシティ経営の推進が求められている。

人材開発をけん引する 有識者らによる対談と講演

こうした背景の下、日立システムズは、働き方を変革するには個人の意識と行動改革が必要と考え、ダイバーシティを基軸としたこれからの経営とリーダーシップを考えること、従業員の力を引き出し組織を強くする働き方改



プロノイアグループ ピョートル氏（左）と経済産業省 伊藤氏（左から2人目）による対談

革を学ぶことに重点を置いた「日立システムズグループ ダイバーシティ・カンファレンス」を日立システムズの本社で開催した。

本イベントでは、役員・管理職を対象とした第一部で、「世界の変化と働き方改革！経営戦略としての人づくり革命」と題し、プロノイアグループ代表取締役 ピョートル・フェリクス・グジバチ氏と経済産業省 商務情報政策局 総務課長 伊藤禎則氏が対談し、AIを活用できる人材の重要性や新たな価値を生み出す柔軟な考え方について、ダイバーシティの観点で話をした。

全従業員を対象とした第二部では、「新しい働き方WAA（Work from Anywhere & Anytime）～自律型組織の作り方～」と題し、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社

取締役 島田由香氏が、自社で導入した新しい人事制度「WAA」に基づき、個人がどのような意識を持って仕事と向き合うかについて講演した。

本イベントに参加した従業員からは「ダイバーシティとは選択肢を増やすこと、働き方改革は生き方を決めることなど、多くの気づきを得た」など、多数の声が寄せられた。

各職場からダイバーシティの 推進メンバーを選出

日立システムズでは、企業活力向上施策「SMILE Work∞Life Action」として、「働き方改革」「健康経営」「ダイバーシティ」の推進とコミュニケーションのさらなる促進により、柔軟な働き方を拡大し、企業活力向上や生産性向上を実現することによって、多様な人材が多様な価値観を持っていきいきと活躍し、大きな成果を挙げることが出来る環境づくりに取り組んでいる。

中でも、ダイバーシティに関しては、多様な人材が働きやすい環境づくりをめざし、各職場から代表として選出された性別・年齢・職位などさまざまな立場の従業員から構成される「ダ



ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス 島田氏の講演を熱心に聞く参加者

イバーシティ・カウンスル」を2012年12月から設置。ダイバーシティ・カウンスルメンバーは、任期1年間で、ダイバーシティの推進について意見交換し、各職場の従業員からの要望などを踏まえた施策を検討し、企画・実行している。今回のイベントの企画を始め、これまで、仕事と育児・介護の両立をめざした意識改革の取り組みなどを行ってきた。

このように、企業が多様な働き方を支援することで、従業員は健康でいきいきと、最大限の能力を発揮することができる。日立システムズは、多様な働き方を尊重しながら多彩な人材を生かし、これからも事業の拡大を図っていくという。